



# The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ 2020年3月報

- 国際会長主題 「より良い明日のために今日を築く」
- アジア太平洋地域会長主題 「アクション」
- 東日本区理事主題 「勇気ある変革、愛ある行動」
- 北東部長主題 「各クラブの個性を磨こう」
- クラブ会長主題 「ホップ・ステップ・そろそろジャンプ」

会 長 中川典幸  
 副 会 長 佐々木絹子  
 書 記 横倉 純  
 会 計 吉田一恵  
 メネット会長 田中京子  
 担当主事 高橋光子

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町9番7号 仙台YMCA内  
 仙台クラブ Facebook: <https://www.facebook.com/sendaiys/>

## <今月の聖句>

「あなた方を襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずで  
 す。神は真実な方です。あなたが耐えられないような試練に遭わせることはなさ  
 らず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えてくださいます。」

コリントの信徒への手紙一 第10章13節

**3月の例会**  
 日 時 : 3月17日(火)  
 19:00 ~ 21:00  
 会 場 : 仙台YMCA会議室  
 内 容 :  
 司 会 :  
 食前感謝 :

### 2月例会報告

|           |         |
|-----------|---------|
| 在籍者       | 15名     |
| 出席者       | 10名     |
| メイキャップ    | 0名      |
| ゲスト・ビジター  | 5名      |
| メネット・コメット | 1名      |
| 出席率       | 66.7%   |
| ニコニコ      | 16,000円 |

## 「 未知の脅威 」

小幡 忠弘

最近の話題と言えば、新型コロナウイルス  
 (以下新型肺炎という。)一色ではないで  
 しょうか。新型肺炎は中国の武漢から発  
 生したと言われており、現在中国はもと  
 より日本を含め世界中に感染が拡大し、  
 いつ終息するのもかも全く分からない状態  
 です。

このような状況下において、日本でも3月  
 2日から小中高校の臨時休校や集会・イベントの  
 自粛等、またマスクや消毒薬の資材不足や転売の問題等あらゆる  
 経済活動・社会生活に支障が出ています。



そんな中、我が家での一番の影響は、息子の小学校の卒業式です。卒業式のために秋ごろに羽織袴をレンタルし、式当日私が着付けをして一緒に卒業式に参列する予定でしたが、残念ながら父兄は参加することができなくなりました。小学校6年間の集大成である卒業式に参加することが出来ず本当に無念の思いです。このような思いは何も私だけではなく多くの人たちが直面していることではないでしょうか。あらゆる行事・プログラムが規模縮小・延期・中止になり、それこそ、その日に自分の人生をかけてきた人、その日にしか都合を合わせられない人、一生に一度しか行われたいイベント等、簡単にはあきらめられないこともあるでしょう。それでも中止を選択せざるを得ない状況なのでしょう。

政府としては、国民の安全・生命を守ることを第一としての判断だと思いますが、夏に控えているオリンピックを見据えての様々な措置もあるでしょう。この状況がいつまで続くのか、さらに非常事態宣言も発令されて、より厳重な政府の管理下に置かれるのかもわかりませんが、日本はもとより世界が一丸となって、この未知の脅威に立ち向かい、克服していくことが求められるのではないのでしょうか。

3月の強調月間「BF、メネット」

「BF」(Brotherhood Fund)はBF代表や国際役員が公式行事に参加する旅費などの資金源として、全世界のワイズメンズの参加によって集められた基金です。使用済郵便切手を整理して集め、切手市場で換金している。次第に現金による拠出が増えてきた。切手を有利に換金するために奉仕する専門家のワイズメンをフィラテリスト、またこの基金の支出面を担当する委員会をBFEC(Brotherhood Fund Expenditure Committee)という。

メネットの月です。メンの活動を支援しつつ、独自の国内、国際の奉仕活動を着実に継続し、メネット会が有る無しにかかわらず、同じ目的をもつパートナーとして、メンとメネットの協働を考えるときです。

<2月例会報告>

日時：2020年2月18日(火) 19:00~21:00

会場：仙台YMCA 会議室

出席者：今澤・小幡・工藤・佐々木・高橋・高松・田中・田村メネ・中川・横倉・吉田

ゲスト：松並央京子さん(講師)・菅原純子(田中友人)・加藤真子さん(青葉城C)

多田純子さん(広瀬川C)・松本京子さん

「例会模様」

久々にゲストスピーカーを招いての例会に、司会は佐々木ウィメン。

開会点鐘、今月の聖句、ワイズソング、ワイズの信条と続き、会長挨拶では「松並さんの講師でクレイクラフトを教えてください、ということで今日は女性の方の出席が多いですね。予定されていましたが次期会長研修会はコロナウィルスの関係で中止になりました。私の所にも何人かの方から、マスクありませんか、との問合せありましたが、全く手に入りません。コロナの一日も早い収束を願います。」と述べられた。

ゲスト、青葉城Cの加藤真子さん、広瀬川Cの多田純子さん、松本京子さん、田中ウィメンママ友の菅原純子さんの紹介があり、本日の講師、松本京央子さんから自己紹介が「塩釜から来ました。昔ミッション系のスクールに入っていましたので、聖書や賛美歌がとても懐かしく感じます。子供は4人おります。震災で主人を亡くし、何か元気の出る、元気の与えられるものはないだろうか、と探しDECOクレイクラフトに出会い、現在は月の10日はボランティアの形でやっております。」と述べられた。尚、名前の央の文字は後から入れたものとのことでした。

工藤ワイズの食前感謝により夕食、TOF月により軽食のサンドイッチ。DEC



OKレイクラフト(特殊な樹脂粘土を使用して、綺麗な花や、いろいろな飾りもの等を作る)の簡単な説明の後、早速実践に。事前に準備されてきた、樹脂粘土(湿度を保つためラップで包まれ)と作品を載せる器が各人に配られ、指導が行われた。韓国ドラマ「冬のソナタ」から「4(ヨン)・3(サン)・5(ゴ)」の数を合言葉に、バラの花びら作りです。まず樹脂を手のひらで平たくつぶし、直径5cmほどのを12個作り、1個は丸めて芯にします。そして3枚・4枚・5枚の順に芯に重ねて花びらを作ります。中々上手にできませんが、それぞれ松並

講師からちょっと手直しをして頂くと、きちんと花びらになります。花びらでなく「ふきのとう」だったり、中には「ギョーザ」だ、の声も。各3個のバラの花を作り、ハート形のかわいいお皿に盛りつけ?し完成です。そして作品は、それぞれ各人のお土産になりました。

連絡報告では、ネパール支援の布風船が届けられたこと、使用済み切手は9kg送られたこと、長町保育園の献堂式が3月7日(土)に行われること、などが周知された。

誕生祝い、ニコニコと続き、田中メネット会長から「先生今日はありがとうございました。田村メネットから、とても楽しい先生ですよ、と聞いていましたがその通りでした。作品は私のが一番出来良かったと思います。コロナのことも忘れ本当に楽しい時間でした。」と閉会の挨拶があり、会が閉じられました。ニコニコ16,000円。





### <3月第二例会報告>

3月3日(火)に予定されていた、第二例会は新型コロナウイルスの関係で延期となりました。延期日は別途周知することとします。

尚、仙台YMCAで予定されていた、ボランティア感謝会や、東日本大震災被災者追悼礼拝は中止に、またその他各種行事についても、それぞれ延期や中止、及び内容の変更等になっています。

## ネパールの子供達への笑顔の布風船

吉田一恵



我がクラブメネットが新しく踏み出した支援活動「笑顔の布風船」の今年度の仕上げの時を迎えました。

仙台クラブメネットとネパールの子供達の橋渡しをして下さっている桜井ひろ子さんが今回はちょっと短いが来る2月25日に約1ヶ月滞在の予定でネパールに行くということでした。去る2月14日佐々木絹子さん宅をお借りして、小野久子さんのお手伝いを頂き、佐々木絹子さん、田中京子さん、今澤智代さん、私で1年間の総仕上げ布風船70個の袋詰め等の作業をしました。『これ私が裁断した布よ。』又、『これ自宅に眠っていた布よ。』とか『この部分ミシン

掛け大変でしょう。』とまだ見ぬネパールのこども達の笑顔を想像しながら、女性ならではの、思いのままざっくばらんに手と口を動かしながらのあっという間の一時でした。去る2月17日に登米市在住の桜井ひろ子さんにネパールの子供達に届けて頂く様にお願いして来ました。笑顔の布風船を手にした子供達からのメッセージの入った笑顔の写真が待ち遠しいです。



## 私の好きな〇● 「歩きましょう」

今澤 智代

昨年の秋、突如追突事故に巻き込まれてしまいました。

一昨年の骨折に続き、またこんな事になってしまい、と自分を責めてしまう。

3台が絡んだ事故で私は真中、気が付いた時には前の車に接触していた。予想外に車の破損がひどかったので当分は運転をしないことにしました。

いずれ免許証を返納する時期が来る。もっと歩きなさい、という警告だったのかも知れない、と思うことにした。

歩きは誰でも自分の体力、ライフスタイルに合わせ、今からでも、いつでも始められるのが最大の魅力ですね。たまには公園や河川敷等に出て、自然を愛でながら・・・。

感性が豊かになるし、歳を重ねてからでも出来ます、社会性を失わずにいられるのではないのでしょうか。はじめの目標は一日8,000歩、無理せず速度を少しづつ上げながら歩き、骨折や寝たきりのリスクを予防したいと思います。



ピンクシャツデー 2020年2月26日 記念写真



### 編集後記

今こそ基本的な生活習慣と睡眠・栄養・免疫力です。様々なうわさに惑わされず・・・  
そんな中でも、保育園の裏の土手にはフキノトウが芽を出し、チューリップの芽も出ている日々に小さな幸せを感じます。いのちに感謝し、日々を過ごすときっと良いときが来ます。来ます！！  
(MT)